

平成30年度

事業報告書

4. 事業

(1) 発掘調査受託事業

平成30年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、948,192,000円であったが、調査の進捗状況等により、最終的に契約金額918,715,704円（契約件数17件）となった。内訳は、別添資料1のとおりである。

区分	当初予定	契約実績	差異
受託事業費（千円）	948,192千円	918,715.7千円	△29,476.3千円
契約件数（件）	18件	17件	△1件
発掘調査（北部）	4件	4件	0件
発掘調査（中部）	2件	2件	0件
発掘調査（南部）	7件	7件	0件
遺物整理	3件	2件	△1件
普及啓発・出土品整理	2件	2件	0件

現地調査に係る説明会を8回実施し、参加者は807名であった。

開催日	遺跡名	参加人数
8月7日（火）	水主神社東遺跡（城陽市）	2名（関係者説明会）
8月25日（土）	春日部遺跡第2次（亀岡市）	101名
8月28日（火）	女布遺跡（京丹後市）	16名（地元報告会）
9月2日（日）	芝山遺跡第17・18次（城陽市）	196名
11月1日（木）	奈具遺跡（京丹後市）	38名（弥栄分校生）
12月1日（土）	芝山遺跡第17・19次（城陽市）	173名
2月2日（土）	美濃山遺跡8次（八幡市）	160名（地元説明会）
2月9日（土）	美濃山遺跡8次（八幡市）	121名

なお、調査を実施したもののうち、特に顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要遺構等	時代
2	美濃山遺跡	八幡市 美濃山	弥生・古墳時代の竪穴建物 奈良時代の建物跡、焼土坑	弥生・古墳 平安時代

5	春日部遺跡	亀岡市 曾我部町	古墳時代の竪穴建物 平安時代の区画溝、建物跡	古墳・平安 時代
---	-------	-------------	---------------------------	-------------

調査報告書については各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は資料 2 のとおり。

『京都府遺跡調査報告集 第 177 冊』 3 月刊行

『京都府遺跡調査報告集 第 178 冊』 3 月刊行

(2) 普及啓発事業

(ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーの実施状況は、次のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
138	平成 30 年 6 月 16 日 (土)	『京都府の横穴墓 ～横穴墓に葬られた人々～』 ・丹後地域における横穴墓群の様相 京丹後市教育委員会 岡林峰夫係長 ・南山城地域の横穴墓群 当調査研究センター 加藤雅士主任 ・群集墳としての横穴墓群 京都橘大学 一瀬和夫教授 討論進行 当調査研究センター 高野陽子主査	京丹後市アグリ センター大宮 (参加者 50 名)
139	平成 30 年 11 月 10 日 (土)	『京都・縄文最前線 ～つたわる、ひろがる 縄文文化～』 ・下水主遺跡をめぐる縄文時代の交流 －土偶の左腕はどこから？－ 当調査研究センター 桐井理揮調査員 ・京都盆地の縄文遺跡とその交流 －京都市上里遺跡の調査成果を中心に－ 京都市考古資料館 高橋潔副館長 ・縄文時代の交流 立命館大学文学部 矢野健一教授	京都市・ 京都テルサ (参加者 90 名)
140	平成 31 年 2 月 16 日 (土)	『天平の都を掘る！ -恭仁宮とその周辺-』 ・恭仁宮跡大極殿院の探求 －40 年以上にわたる試行錯誤－ 京都府教育委員会 古川 匠副主査 ・恭仁宮の時代の木津川流域を探る	木津川市相楽会館 (参加者 131 名)

		<p>－岡田国遺跡の発掘調査成果を中心に－ 当調査研究センター 福山 博章主任</p> <p>・恭仁宮の造営過程とその背景 当調査研究センター 中尾 芳治理事</p>	
--	--	---	--

(イ) 成果展（京都府教育委員会委託事業）

平成 29 年度の発掘調査成果とともに福知山市ヌクモ 2 号墳出土の龍虎鏡や平安京跡出土の青花大皿などの京都府暫定登録文化財を中心に展示した。巡回展として京都府立山城郷土資料館、京都府立丹後郷土資料館においても実施した。

○テーマ：「発掘された京都の歴史 2018 いにしへの技とデザイン」

- ・会 場：向日市文化資料館
- ・会 期：平成 30 年 8 月 4 日（土）から同 26 日（日）まで 20 日間
- ・参加者：1,767 名

- ・会 場：京都府立山城郷土資料館
- ・会 期：平成 30 年 9 月 5 日（水）から同 23 日（日）まで 17 日間
- ・参加者：470 名

- ・会 場：京都府立丹後郷土資料館
- ・会 期：平成 30 年 9 月 29 日（土）から 10 月 14 日（日）まで 14 日間
- ・参加者：321 名

(ウ) 機関誌

機関誌『京都府埋蔵文化財情報』は、次のとおり刊行した。内容は資料 2 のとおり。

第 134 号	11 月刊行	1,500 部
第 135 号	3 月刊行	1,500 部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

府内の遺跡発掘調査成果等を発信するリーフレット『もっと知りたい京都の遺跡』を年 2 回作成した。（A 3 版、二つ折り、カラー刷り）

- 第 3 号「都の瓦を焼く」 5,000 部
- 第 4 号「喜奇楽洛 京フィギュア」 5,000 部

(オ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を通して、積極的な文化財保護の啓発を行った。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行った。

○夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業）

講座名 「勾玉をつくろう！」

開催日 第1回 平成30年8月15日（水）午前10時～ 参加者28名
第2回 // 8月15日（水）午後2時～ 参加者31名
第3回 // 8月16日（木）午前10時～ 参加者27名
第4回 // 8月16日（木）午後2時～ 参加者32名
第5回 // 8月17日（金）午前10時～ 参加者33名
第6回 // 8月17日（金）午後2時～ 参加者30名

会場 当調査研究センター研修室

対象 乙訓管内の小学4～6年生を対象とする。

人数 合計181名

○京都府教育委員会「京まなび教室等特別講師派遣事業」

・講座名 「勾玉をつくってみよう」

開催日 平成30年7月11日（水）

会場 長岡京市立長岡第七小学校

人数 4～6年生24名

・講座名 「ふれてみよう考古遺物」

開催日 平成30年10月10日（水）

会場 長法寺小学校

人数 4～6年生12名

○八幡市男山東中学校区学校支援地域本部「美濃山遺跡発掘調査見学会」

開催日 平成31年2月13日（土）

参加者 160名

(カ) 「関西考古学の日2018」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟12法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2018」に関連して、当調査研究センターでも京都の歴史を紹介する『秋の考古学講座』を開講した。

・秋の考古学講座（各講座 定員30名）

第1回 平成30年9月1日（土）午前10時～午前11時30分

浅田 洋輔 「丹波の古代寺院と瓦」 受講者13名

第2回 平成30年10月20日（土）午前10時～午前11時30分

綾部 侑真 「上京惣構の実像をさぐる」 受講者14名

第3回 平成30年11月3日（土）午前10時～午前11時30分

竹村 亮仁 「南山城地域の横穴式石室墳」 受講者20名

(キ) 「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

平成30年11月17日（土）・18日（日）に京都向日町競輪場において開催された「向日市まつり」に「伝統の網代編みに挑戦しよう！」と題したブースを運営した。縄文時代以来の網代編みでコースターを作り、体験者に持ち帰っていた。体験参加者は、2日間で143名であった。

(ク) 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を複数の職員が共同で行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

	継続・新規	申請者	共同研究員	研究テーマ
1	継続	筒井 崇史	福山 博章	出土土器からみた官衙と集落の比較検討
2	継続	竹村 亮仁	荒木 瀬奈	京都府内における横穴式石室導入期の古墳の検討
3	新規	浅田 洋輔	村田 和弘	丹波の古代寺院と瓦
4	新規	面 将道	中川 和哉	北部九州における瀬戸内技法の流入時期について
5	新規	引原 茂治	小池 寛	日本海域における軽石の流通

(ケ) 出土品の台帳作成等（京都府教育委員会委託事業）

出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にした。

北稲遺跡・柿添遺跡第1次	28箱
柿添遺跡第2次	7箱
柿添遺跡第3次	6箱
馬路遺跡第3次	23箱
馬路遺跡第4次	7箱
三日市遺跡第4次	3箱
池尻遺跡第7次	17箱
合計	91箱

5 その他

(1) 職員研修

(ア) 専門研修

文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加した。また、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取り組んだ。公益財団法人公益法人協会が実施する会計セミナーに参加した。

(イ) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となり、鈴江理事を講師として、11月16日に職場研修を実施した。また、臨時職員を対象とした職場づくり研修を本部及び発掘調査事務所で実施した。このほか、京都府教育庁行政・人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加した。

(2) 遺跡検討会

(3) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣した。